



株式会社 米ファーム斐太
会社案内



代表挨拶



株式会社米ファーム斐太

代表取締役 廣瀬 晃

高齢化や後継者不足により、離農する農家が相次いだため、2007年3月、地域農業の維持を目標に、農事組合法人として米ファーム斐太を設立致しました。その後、農地の拡大を図り、経営のコスト削減に努め、昨今の気候変動にも耐えうる農作物の栽培に努めてまいりました。しかし、高齢化に歯止めがかからず、構成員のみでの圃場管理が難しい状況となりました。そこで、広く労働力を確保するため、2018年5月に株式会社へ組織変更を致しました。労働条件の改善により、従業員も年々増加しております。

従業員の通年雇用を図るために、冬季期間中に栽培しているアスパラ菜は、販売を委託している直売所では大変好評です。市内の保育園や小学校の給食にも採用していただいております。また、2019年より市内の社会福祉法人より人材を受け入れ、農福連携を図っております。

今後も、地域に根差した農業をモットーに、安心・安全で消費者に求められる農産物づくりに、役職員一同、一丸となって努力してまいります。



理念

古来より脈々と受け継がれてきた、斐太地域の農地保全と維持管理を通じ、ふるさとの自然と地域農業を守ります。

使命



- 妙高山系の清らかな雪解け水を活かし、安心安全でお客様から求められる農産物を生産します。
- 自然有機栽培を基軸として、斐太地区の自然と環境に配慮した取り組みを進めます。



米ファーム斐太の 米づくり

妙高市内には、日本百名山に選ばれた、標高2,000m超の妙高山・火打山といった山々がそびえています。

また、日本有数の豪雪地帯であり、妙高山系には8月でも雪が残ります。清らかでミネラル豊富な雪解け水が川へ流れ出し、1年を通して田を潤します。

米ファーム斐太では、恵まれた環境と広大な農地を活かし、コシヒカリや新之助といった高級品種の米をはじめ、近年需要が高まっている外食・中食用の業務用米の栽培に取り組んでいます。

米ファーム斐太の 野菜づくり

冬季の作業として、ビニールハウス内で栽培できるアスパラ菜の栽培に取り組んでいます。

アスパラ菜は寒さが強くなることで甘みが増すアブラナ科の野菜です。

くせがなく、アスパラガスのような食感が楽しめるため、冬場の貴重な葉物野菜として親しまれています。

また夏から秋にかけては、業務用の大豆や、イモ類・夏野菜等の園芸作物の栽培に取り組んでいます。

収穫した野菜は、近隣の農産物直売所や事務所内の店舗にて販売しています。



会社概要



会社名	株式会社 ^{まい} 米 ^{ひだ} ファーム斐太
代表者	代表取締役 廣瀬 晃
所在地	新潟県妙高市大字十日市475番地1
年商	171,693千円(2018年度)
資本金	10,331千円
役員	3名
社員	8名
取引先 金融機関名	えちご上越農業協同組合 新井支店
主要取引先	えちご上越農業協同組合 関東穀粉(株) NPO法人悠藍睦会 (株)新潟農商



沿革



2007年	2月	農事組合法人米ファーム斐太 設立総会開催 (法人登記は同年3月19日)
	3月	認定農業者(農業経営改善計画の認定による)
2008年	12月	エコファーマー認定
2009年	3月	新潟県特別栽培米 取り組み開始
	5月	第8回JAえちご上越農業賞 集団組織の部 大賞 受賞
2012年	4月	みずほの輝き 取り組み開始
	5月	旧JA斐太支店買い取り (土地894.45㎡ 建物385.6㎡)
2014年	11月	第17回全国農業者担い手サミット 集落営農部門 農林水産省経営局長賞 受賞
	12月	平成26年度新潟県優良農業経営体等表彰事業 集落営農組織の部 新潟県知事賞 受賞
2015年	4月	新潟次郎・輸出用米 取り組み開始
2018年	4月	新之助 取り組み開始
	5月	株式会社米ファーム斐太へ組織変更

経営規模

経営面積

142ha

水稲

新之助、コシヒカリ、こしいぶき、こがねもち、みずほの輝き、つきあかり

大豆

里のほほえみ

野菜

アスパラ菜、キクイモ、コンニャクイモ、花豆、トウモロコシ、ピーマン、カボチャ

(2019年4月現在の予定)



4月 育苗



4月 耕うん



5月 田植え



6月 大豆播き



9月 稲刈り



12月 アスパラ菜栽培

展 望

農産物の種類・収量の拡大

生産する農産物の種類・収量を拡大し、より消費者のニーズに応えられる農業を進めます。

新生産技術の導入

農業用ドローンや生産管理のIT化を導入し、少人数で効率的な作業ができるようにします。

直営直売所の新設

当社による運営の直売所を設置し、消費者への直接販売を進め、会社のPRに繋がります。

6次産業の展開

収穫した農産物を使用した加工品を製造・販売し、売上の拡大を目指します。

異業種交流の推進

取引先企業をはじめとする異業種の企業との人材交流を推進し、取引の拡大を進めます。

アクセス

新潟県道63号線沿い 家'Sハセガワ様南隣

- えちごトキめき鉄道妙高はねうまライン(旧JR信越本線)北新井駅より徒歩30分
- 北陸新幹線・えちごトキめき鉄道上越妙高駅より車で10分
- 上信越自動車道新井スマートICより車で8分





米ファーム斐太 事務所
外観



株式会社 米ファーム斐太

新潟県妙高市大字十日市475番地1

TEL 0255(70)5750 FAX 0255(70)5760

m-f-hida@valley.ne.jp

<https://mfhida.sakura.ne.jp/>